

# 「KUNO メソッド」、国内外で高い評価

株式会社 幼児教育実践研究所 代表取締役

久野泰可さん

Yasuyoshi Kuno



## 教科前基礎教育に力点

幼児教育に関わったきっかけは、大学卒業直後にゼミの教授が渋谷で始めた幼児を対象とした実験教室への参加だった。「幼児期の教育は遊び中心の保育ではなく、その時にしかできない体験をさせ、教科の前の基礎教育をしっかりやり考える力を養うべきだ」と久野さん。だが、「教育と経営の両立などで悩んだ時期もありました」。

実験教室を退職後の1986年、株式会

社幼児教育実践研究所「こぐま会」を設立。「教科前基礎教育」など3つの教育理念の下、十数年にわたる現場での実践経験を基に独自の幼児向け「こぐまオリジナル教材」を開発した。

この独自の教材は大反響を呼び、現在全国約200の書店で販売、海外では「KUNOメソッド」として高く評価され、中国や韓国、ベトナムなど東南アジアの幼稚園で活用されている。

「こぐま会」は筑波大学付属小など有名

静岡市にゆかりがあり、東京を拠点に内外で活躍する皆様に、東京から見た静岡市の良さと可能性、まちづくりの方向について、ご提案いただきます。

公私立小学校の受験塾としても知られるが、久野さんは「受験教育だけでは、将来先細りする」と考えている。かねて「幼児教育に新しい風を吹き込みたい」との強い思いがあり、全国の幼稚園、保育園での教材の普及拡大に取り組む。通信教育の導入なども検討中だ。

国内外で活動の場を広げている久野さん。「東京は新しいものがどんどん生まれ、入れ替わりが激しい。やっぱり、独自性、確固とした信念を持ち、それを貫くことが大事ですね。私の独自教材も3、4社から真似されましたが、オリジナルのものは最後まで残ると強い信念ですね」。

「それから最初から大きくやるうと思った駄目です。小さくても独自のカラーを出せば人が集まってくる。さまざまな人たちとの交流、いい人間関係の構築。現状を冷静に分析する謙虚さ、固定費をかけ過ぎないことも必要ですね」。小さな教室からスタートし苦勞を重ねただけにどれも説得力がある。

## 幼児に静岡の自然体験

郷土については「静岡には豊かな自然がある。幼児期にこそ、海や川での体験をさせるべきなんです。自分の子どもにも実体験をさせたいと思っている親が東京にはいっぱいいます。そういう子どもたちを積極的に呼んだらいいと思います」と、教育者らしい視点で切り込んだ。(文・長田義明、写真・株幼児教育実践研究所)

### 経歴

金谷町(現島田市)生まれ。県立静岡高校卒業、横浜国立大学教育学部卒業。1972年、渋谷で幼児教室(実験教室)の立ち上げに参画、86年、独立して「こぐま会」を設立し、代表取締役役に就任。66歳。幼児期における「考える力」の育成を目指し、8000人以上の子どもたちを指導。その内容を「KUNOメソッド」として確立。主な著書に「間違いだらけのお受験」「3歳からの考える力教育」(いずれも講談社)、「子どもを賢くする75の方法」(幻冬舎)など。東南アジアを中心に海外でも講演。  
<http://www.kogumakai.co.jp>